

「教育委員再任にあたり」



にしお のぶよし
【西尾修欣委員】

初めての教育委員会の会議に出席したのがちょうど4年前、随分緊張していたのを覚えています。

その後いろいろな話を聞き数々の現場を見て、意見交換もしてきましたが、結局感じることは自分の見識の低さや勉強不足な点ばかりで、大変立派な同職の先輩方と接するにつけ感心することばかりの日々でした。

4年の任期を終えるにあたり、自分のような者がよく勤めてこられたものと思っていたところ、図らずも引き続き教育委員の重責を担うこととなりました。しかしこれはこれまでの出来が良かったからではなく、さらに精進して努めよとの声なき声に導かれてのこととっております。はなはだ微力ではありますが恵那市の子どもたちのため、また 広く社会教育の推進のため務めてまいります。

市議会総務文教委員と教育委員と語る会

本年度で9回目となる恵那市議会総務文教委員と教育委員の語る会を開催しました。

自由討論形式で、教育行政について、5つのテーマについて委員たちで自由な意見交換しました。テーマは①コミュニティスクール②ICT活用の推進、③恵那市の特色ある学校教育、④教職員の加重負担軽減、⑤全国学力テストの結果を受けた教育のあり方を事務局より説明をしました。

総務文教委員から、郷土芸能の教育については、教える側の高齢化や講師等の予算確保、地域を広げて勉強できる場を設ける必要があるとの意見が出ました。

また、ふるさと学習の講師をコミュニティスクールの協議会の委員として参加する。ICTの発達で図書館利用が減るのではないかといい意見や、学校の教員も対外的な関係が多くなり、加重負担の一員になっているのではという話がありました。

教育委員からは少子化に伴う教育環境を整備することや、児童や生徒の学力の向上のためには、教員の探究心をさらに養う研修などが必要になるといった活発な意見交換が行われました。

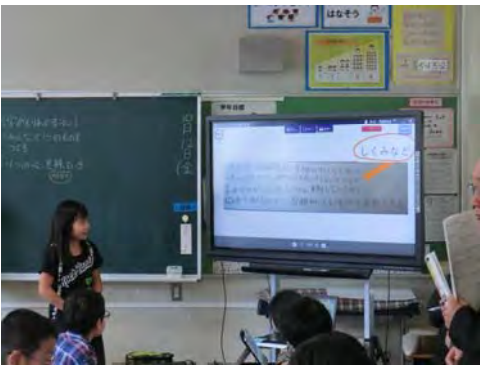
このような委員の意見を生かして、児童や生徒たちがさらに充実した学校生活がおくれるように教育委員会も支援していきたいと考えています。



ICT教育の先進地などを視察しました



【タブレットを使う様子】



【電子黒板を見て発言】

10月10日、11日に教育委員視察研修で、滋賀県彦根市と草津市を訪問しました。

彦根市は、国宝五城の一つである彦根城とその近くにある彦根市立図書館を見学し、歴史的な城郭の様子や図書館の活用状況など見学してとても参考になりました。

草津市では、ICT教育の先進地である草津市立笠縫かさぬい小学校を訪問しました。

この視察では、草津市が行っているアクティブラーニングの教育としてタブレットなどを積極的に使う授業を見学しました。

児童は先生から送られた資料をタブレットで見て確認し、その後ノートに書いた自分の考えをカメラ撮影で写真にして転送します。そして、電子黒板に示された自分たちの意見を集約して、発言していました。電子媒体が効率よく使われていることを見て、とても勉強になりました。

また、草津市は江戸時代の東海道と中山道が合流する地点であり、国指定の史跡でもある貴重な本陣が現存しています、広大な敷地を構える往時を偲ぶ建造物も見学し、恵那市にもある古い町並みや、行在所などの保存活用の参考になりました。

公益社団法人日本PTA全国協議会の会長表彰

恵那西中学校のPTAが、11月21日に東京都のホテルニューオータニを会場に行われた「日本PTA全国協議会創立70周年記念式典」の場で、多年にわたるPTA活動が大きく評価され、公益社団法人日本PTA全国協議会の会長表彰(団体)を、皇太子ご夫妻のご臨席のもとで受けました。

岐阜県でも2校のみの表彰であり、とても名誉のある表彰です。このような表彰を市内の学校が受けたことを励みにして、今後も学校とPTAが一層連携をして、児童生徒が快適で充実した学校生活を送れることを、教育委員会も応援していきたいと考えています。



【表彰状を披露するPTA会長と学校長】